

九州支店

株式会社 日立ハイテクノロジーズ様向け (仮称)製造棟増築工事

医療機器の製造を增強

現在施工中である(仮称)製造棟増築工事は、株式会社 日立ハイテクノロジーズ様より2016年3月に受注を頂きました。

(大牟田地区は2016年9月1日設立の新会社：株式会社 日立ハイテク九州様へ移管)

当該増築棟は、医療機器の製造增強をBCPの一環として、鉄骨造5階建て延べ床面積約8,000㎡、軒高20m超の建物であり、基本設計時より建設コスト抑制・周辺環境・建築設備の効率化を念頭に参画させて頂きました。

2016年6月1日には起工式が執り行われ、杭工事に着工、9月末で本体鉄骨建て方がほぼ完了いたしました。

杭及び基礎工事期間中は、梅雨時期・九州豪雨と重なり、雨天での作業中止も余儀なくされ日程調整に大変苦勞いたしました。また夏季の鉄骨組立期間は猛暑時期と重なりましたが、暑熱対策として、早朝より工事開始時間設定を行うなど、工事遅延ロスを最小限にするよう、計画実施してきました。

今後は、設備・電気工事も入り工事が錯綜いたしますが、工程調整を確実にを行い2017年3月末の完工・引き渡しに向けて、安全最優先で無災害を継続し、品質面でもお客様に満足して頂けるよう、スタッフ一同力を合わせてがんばって参ります。



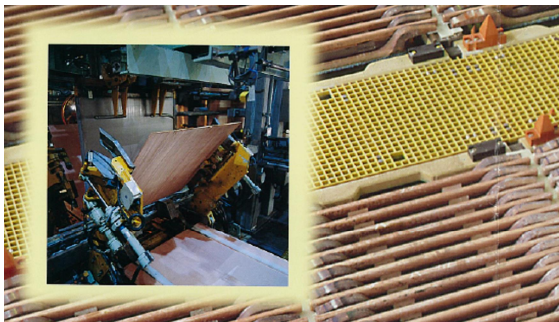
製造棟増築工事風景

「Copper 2016」開催

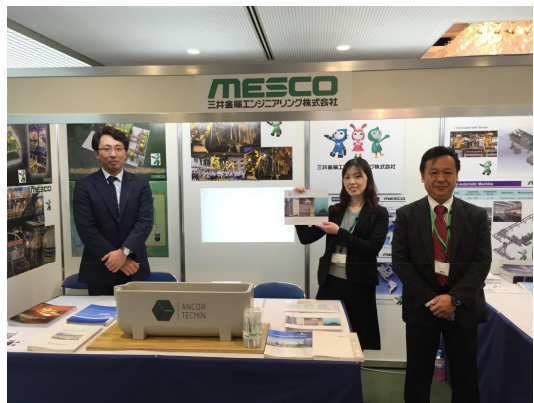
兵庫県神戸市にてアジア地域初開催

「Copper 2016」は、1987年に第1回目がチリで開催されて以来、3年毎にカナダ、米国、ドイツなど各国で開催される国際会議であり、第9回目となる今回は、兵庫県神戸市の神戸国際会議場において資源・素材学会が主催者となり日本鉱業協会の共催で開催されました。

アジア地域では初めての開催となり、11月14日～16日の3日間開催され、世界34カ国から延べ720名以上の産官学の技術者、研究者、関係者が参加しました。



MESCO製ロボット型 銅剥ぎ取り機



MESCO出展ブース

「Copper 2016」は、私達の生活に不可欠な材料である銅産業の持続可能な開発、銅産業が世界経済と環境の持続可能な発展に貢献することについて、21世紀の銅産業の継続的な発展の可能性を示しました。

また業界、学界、政府の専門家が集まり、最新の意見を交換、情報を共有し、地域社会のつながりを強化する場となりました。

一般講演では、地質・探査、採鉱、選鉱、乾式製錬、湿式製錬等、11項目に分かれ国内外の各界リーダーらによる約300に及ぶ講演が行われ、日本国内リーダーの講演では環境技術、リサイクル技術等、最先端の技術力を世界に発信しました。

関係企業の展示ブースはMESCOも含め35社の出展となり、自社活動を紹介しました。

弊社は展示ブースにて銅製錬業界でのプラント施工、自動機械の実績を展示し、お越し頂いたお客様より沢山の反響を頂くことができました。

これも一重に、ブースへ足を運んでいただいた全てのお客様のお陰と、営業部員一同、心より感謝しております。

これからもMESCOは、非鉄製錬業界におけるエンジニアリング実績を活かし、幅広い業界において活躍してまいります。



電解銅板

世界各地で活躍する

MESCO製 各種製錬設備**アフターフォローも充実 現地派遣指導員**

独自技術ならびに品質にて定評のあるMESCOの銅、亜鉛の電解工場向け自動ハンドリング設備は、日本国内のお客様のみならず世界中のユーザーに続々と納入され稼働しております。

最近の納入先としましては中国の雲南銅業殿、カザフスタンのKazzinc殿、米国のNord Resources殿、中国の株州冶錬殿ならびに紫金有色金属殿、またアフリカ諸国の鉱山会社等が含まれます。

また、設備の納入に際しては、現地での据付、ならびに試運転調整のための指導、現地スタッフへのトレーニングが必須であり、現地でのスムーズなプロジェクト遂行・立上の支援のため、世界各地でMESCOの経験豊富な技術者が派遣され活躍しております。



銅剥取機(中国)

技術的な面だけではなく、それぞれ固有の習慣や環境にも適応しながら、本来の目的であるプロジェクト業務を遂行し、お客様に貢献し、高い評価を受けております。

今後もMESCOは、その技術で顧客の厳しいニーズに応える設備の開発に励んで参ります。



アノード矯正機(カザフスタン)



-40℃の過酷な環境にもめげず活躍する技術者



現地スタッフと間違えられ中国語で話しかけられることも多い当社技術者



明日を担う技術の

MESCO

2017年 社長年頭挨拶

あけましておめでとうございます。
2017年の年頭にあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

まず当社の2016年度の業績見通しですが、東証2部に上場した2000年度以降でBEST5に入る業績は残せそうな状況ではあるものの、原計画から乖離した内容もあり、昨年初めに設定した3ヶ年中期計画のスタートの年度としては若干課題が残る結果になるかと考えております。今年度の残り3ヶ月、次年度に繋げて行けるよう取り組んで参ります。

さて昨年は、国内においては熊本震災や博多の道路陥没、糸魚川の大火災といった事故災害が多発し、海外においては米・韓・比・緬における政治変動や中東の紛争激化、英国のEU離脱、パナマ文書公開といったビッグな出来事が発生しました。一年を表す漢字としてリオのオリンピックの金メダルラッシュ等を踏まえて「金」が選ばれましたが、見方を変えると「緊」の一年であったとも言えると思います。



代表取締役社長 荒木 潤一

そして今年はトランプ新政権の始動もあり、おそらく「銅」ならぬ「動」の1年になるのではないかと予想しております。

そういった中であっても、MESCOは自社の経営理念のひとつである「お客様第一」を基軸に据え、弊社がもつ最高の技術とサービスをご提供し続け、お客様にとってより有益な設備企画とreasonableな投資額、および投資機会を失しない納期の実現を推し進めて参る所存ですので、益々のご愛顧とより一層のご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

あ と が き

今号に記載しましたCopper 2016に、海外の銅関連関係者が数多く来場されました。

講演の中で、今後2020年に向けて銅価（LME）は上昇していくとの予想がありました。

MESCOのお客様は銅関連が多く、今後、設備投資が活発になることを期待しております。

また、東京オリンピックまで3年となり、国内の経済が活性化し、弊社の様々な分野のお客様の設備のご支援ができることを期待しております。

今後ともMESCOをご支援のほど、よろしくお願いいたします。

国内営業部 部長 木村 聡一郎

国内営業部員紹介

2016年9月入社

Topics 2



国内営業部へ配属されました、今（こん）と申します。

前職はバルブメーカーに勤務しており、その経験を生かし、お客様に最適な提案をご案内できるよう、日々精進して参ります。よろしく申し上げます。

Engineering

Quarterly

平成29年1月5日発行 Vol.61
発行責任者 国内営業部長 木村 聡一郎
(kimura_s@mesco.co.jp)
発行担当者 国内営業部 堀江 和喜
(horie@mesco.co.jp)

明日を担う技術の MESCO

三井金属エンジニアリング株式会社

本社	〒130-8531	東京都墨田区錦糸3-2-1	アカイスト15階	Tel 03(5610)7831	Fax 03(5610)7861
国内営業部	〒130-8531	東京都墨田区錦糸3-2-1	アカイスト14階	Tel 03(5610)7840	Fax 03(5610)7863
東北支店	〒039-1161	青森県八戸市大字河原木字浜名谷地76		Tel 0178(28)2041(代表)	Fax 0178(28)5251
神岡支店	〒506-1114	岐阜県飛騨市神岡町鹿間1-1		Tel 0578(82)3539	Fax 0578(83)2862
九州支店	〒836-0817	福岡県大牟田市大字唐船2100		Tel 0944(57)3190	Fax 0944(54)5539
上尾支所	〒362-0021	埼玉県上尾市原市1380-15		Tel 048(774)9211(代表)	Fax 048(775)0913